
チヨニヤチヨニ

たたたのた

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チヨニヤチヨニ

【Nコード】

N1256M

【作者名】

たたたのた

【あらすじ】

時が止まった空間。千代は佇む。

プロローグ

時が止まった。

少なくとも千代^{ちよ}はそう思った。先ほどまで吹いていた風もなく、音もない。動かない。周囲の人々も、目の前の相手も。目の前の女性^{せい}は宙に浮いたままの状態である。

しかし、

・・・これは私の能力じゃない・・・

千代はこの時が止まった空間、その中で普通に動くことができた。

・・・なぜ？

不思議だった。これは彼女が使える能力ではない。これが彼女の能力だとしても、コントロールができない能力は使えないからだ。

もう一度千代は周りを見渡す。観客席の人々が見える。さっきまで大きな声で応援していた人々。その人々の顔はそのまま止まったままだ。誰一人として動いていない。先輩も、先生も。この時間に一人残された気分だ。実際動けるのは見渡す限り彼女だけなのかもしれない。

時が止まる前、千代は戦っていた。目の前の宙に浮いている女性と。戦いは劣勢。負ける。そう思ったとき・・・

ピタッ。

千代はそんな音が聞こえたのかもしれない。そしてすべてが止まった。千代はすぐに能力を使用し、相手を動けないよう固定した。両手を、両足を、腰を、首を。そして両目を塞ぐ。勝った。

そして体育座りをして時が動き出すのをじっと待った。これで本当勝ったのかどうかを考えながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1256m/>

チヨニヤチヨニ

2010年10月11日12時18分発行